



2026年8月12日

上場会社名 株式会社東京通信グループ 上場取引所 東
コード番号 7359 URL <https://www.tokyo-tsushin.com/>
代表者（役職名） 代表取締役社長CEO（氏名） 古屋 佑樹
問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 赤堀 政彦（TEL） 03-6452-4523
半期報告書提出予定日 2026年8月12日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（動画配信のみ）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年12月期中間期	3,798	19.6	234	66.8	266	153.4	135	196.2
2025年12月期中間期	3,176	14.6	140	—	105	—	45	—

（注）包括利益 2026年12月期中間期 167百万円（322.0％） 2025年12月期中間期 39百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	13.41	13.38
2025年12月期中間期	4.53	4.52

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年12月期中間期	3,776	1,013	23.8
2025年12月期	3,671	890	20.8

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 899百万円 2025年12月期 764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	0.00			
2026年12月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	6,500	4.5	250	27.9	260	△60.9	110	△52.3

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2 社(社名) 株式会社T-PRO、株式会社iFYOU、除外 1 社(社名)

当中間連結会計期間より、新たに設立した株式会社T-PRO及び株式会社iFYOUを連結の範囲に含めております。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年12月期中間期	10,074,422株	2025年12月期	10,074,422株
2026年12月期中間期	1株	2025年12月期	1株
2026年12月期中間期	10,074,422株	2025年12月期中間期	10,074,072株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足資料入手方法について)

決算説明資料は、TDnetで同日開示するとともに当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、景気が緩やかに回復しているものの、中東情勢の影響を注視する必要がありますが状況が続いております。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな景気回復を支えることが期待されるものの、金融資本市場の変動の影響などにも注意が必要であり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが事業展開するインターネット広告市場においては、社会のデジタル化を背景に、2025年のインターネット広告費は前年比10.8%増の4兆459億円^(※1)となりました。また、インターネット広告費のうち、インターネット広告媒体費は、動画サービスにおける利用者数・利用時間が増加したことで、前年比11.8%増の3兆3,093億円^(※1)となっております。

このような事業環境の中で、当社グループは、「創造によって世界中のエモーションを刺激する」というパーパスの実現に向けて、ビジョンに「Digital Well-Being」を掲げ、インターネットを通じて人々の心を豊かにするサービスを創造し続けることによって企業価値の持続的な向上を図っております。

当中間連結会計期間における連結業績は、売上高についてはメディア事業が牽引したことに加え、営業利益についてはメディア事業、プラットフォーム事業及びファンビジネス事業の全セグメントにおいて二桁増益となったことなどにより、前年同期比66.8%増と大幅な増益となり、好調に推移いたしました。また、経常利益についても、営業利益の増加に加え、営業外収益の寄与などにより、前年同期比153.4%増と大きく伸びました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は37億98百万円(前年同期比19.6%増)、営業利益は2億34百万円(同66.8%増)、経常利益は2億66百万円(同153.4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は1億35百万円(同196.2%増)、EBITDA(営業利益+のれん償却費+減価償却費)は3億81百万円(同19.1%増)となりました。

(※1)出所 株式会社電通「2025年 日本の広告費」

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、エンタメテック関連事業の成長に伴い、当中間連結会計期間より、セグメント区分を従来の「メディア事業」及び「プラットフォーム事業」の2区分から、「メディア事業」、「プラットフォーム事業」及び「ファンビジネス事業」の3区分へ変更しております。これに伴い、従来のエンタメテック関連事業(「エンタメテック事業」及び「ファンクラブビジネス事業」)は「ファンビジネス事業」に集約しております。

前年同期の数値については、変更後のセグメント区分に組み替えた数値により比較・分析を行っております。

(メディア事業)

メディア事業のセグメント区分には、カジュアルゲームアプリ事業、ハイパーカジュアルゲームアプリ事業及び画像メーカーサービス事業等が属しております。

当中間連結会計期間におけるメディア事業は、ハイパーカジュアルゲームアプリ事業が売上高及びセグメント利益を牽引し、当第2四半期会計期間(4月から6月の3ヶ月間)の売上高は四半期ベースで過去最高を更新するなど、好調に推移いたしました。また、App Store及びGoogle Playにおける無料ゲームランキングで上位にランクインするゲームアプリを複数創出し、収益性の向上にも寄与いたしました。

なお、重要指標である当中間連結会計期間におけるスマートフォンアプリの運用本数^(※2)は238本となりました。

以上の結果、売上高は22億71百万円(前年同期比23.1%増)、セグメント利益は2億58百万円(同14.5%増)、EBITDA(営業利益+のれん償却費+減価償却費)は2億84百万円(同13.2%増)となりました。

(※2)運用本数とは、広告出稿による運用を伴うすべてのスマートフォンアプリの本数(月平均)としております。

(プラットフォーム事業)

プラットフォーム事業のセグメント区分には、電話占いサービス事業が属しております。

当中間連結会計期間における電話占いサービス事業は、主力の「電話占いカリス」が業界内において一定のプレゼンス(認知度・利用者基盤)を有していることを背景に堅調に推移し、当事業を牽引いたしました。加えて、2023年に株式会社サイバーエージェントから事業譲受した「SATORI電話占い」が安定的に推移したほか、「恋愛相談METHOD」についても月次売上高が2四半期連続で過去最高を更新するなど、概ね計画通りに推移いたしました。セグメント利益については、過去のM&Aに伴い計上した顧客関連資産の償却の一部が3月に予定通り終了したことにより、償却費の減少が増益に寄与いたしました。

なお、重要指標である当中間連結会計期間における電話占いサービス事業の相談回数は、136千回となりました。

以上の結果、売上高は10億49百万円(前年同期比0.1%増)、セグメント利益は1億98百万円(同35.6%増)、EBITDA(営業利益+のれん償却費+減価償却費)は3億18百万円(同6.6%増)となりました。

(ファンビジネス事業)

ファンビジネス事業のセグメント区分には、エンタメテック事業、ファンクラブビジネス事業及びIPグロース事業が属しております。

当中間連結会計期間におけるエンタメテック事業は、推し活×メッセージアプリ「B4ND」において、プロモーション施策の強化等を背景に主力アーティストの会員数が増加し、全体の会員数も増加基調で推移いたしました。その結果、安定的に利益を創出し、7四半期連続で黒字を計上しております。

ファンクラブビジネス事業は、所属アイドルグループのオフィシャルサイトにおける月額課金売上が安定的に推移したことに加え、ファンクラブイベントの複数展開が奏功し、引き続き黒字を計上しております。

IPグロース事業は、7月に事業譲受により「WHITE SCORPION」に係る所属権利及び専属マネジメント契約その他関連する権利を取得いたしました。これにより、外部とのアライアンス契約を通じた間接的な関与から直接的なマネジメント体制へ移行し、アーティストマネジメント機能の強化に加え、当社グループが有するメディア展開力やデジタル領域における知見を活用した事業展開を推進してまいります。

以上の結果、売上高は4億60百万円(前年同期比80.2%増)、セグメント利益は48百万円(同81.5%増)、EBITDA(営業利益+のれん償却費+減価償却費)は48百万円(同81.9%増)となりました。

(その他)

その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。投資事業、デジタルサイネージ事業、メタバース事業及び新規事業開発等に取り組んでおります。

当中間連結会計期間においては、各事業の成長に向け、既存サービスの改善、顧客基盤の拡大及び収益機会の創出に取り組むとともに、中長期的な成長を見据えた事業基盤の強化を推進いたしました。

以上の結果、売上高は15百万円(前年同期比38.8%減)、セグメント損失は12百万円(前年同期はセグメント損失18百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における財政状態は、資産が37億76百万円(前期末比2.9%増)、負債が27億63百万円(同0.6%減)、純資産は10億13百万円(同13.8%増)となりました。

資産の主な増減要因は、現金及び預金が60百万円減少、売掛金が2億25百万円増加、前渡金が85百万円増加、償却によりのれん、商標権及び顧客関連資産が1億39百万円減少したことによるものであります。

負債の主な増減要因は、未払金が1億30百万円増加、短期借入金が1億32百万円減少、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が91百万円減少したことによるものであります。

純資産の主な増減要因は、非支配株主持分が11百万円減少及び親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が1億35百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ60百万円減少の10億77百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な内容は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動の結果、1億72百万円の資金流入となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益2億66百万円及び減価償却費、のれん償却額が1億47百万円あった一方、法人税等の支払額47百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動の結果、45百万円の資金流入となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入52百万円及び無形固定資産の取得による支出5百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動の結果、2億81百万円の資金流出となりました。これは主に、短期借入金の純減額が1億32百万円、長期借入れによる収入7億9百万円、長期借入金の返済による支出8億1百万円、非支配株主への分配金の支払額44百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、2026年2月12日に公表いたしました業績予想からの変更はございません。

なお、本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在における将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想であり、リスクや不確定要素を含んでおります。実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等様々な要因により、記述されている業績予想とは大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,138,621	1,077,725
売掛金	776,353	1,001,983
貯蔵品	4,852	4,508
その他	157,734	272,425
貸倒引当金	△9,572	△10,740
流動資産合計	2,067,990	2,345,902
固定資産		
有形固定資産	43,814	42,388
無形固定資産		
のれん	483,289	420,545
商標権	566,363	525,851
顧客関連資産	48,990	12,600
その他	44,226	44,503
無形固定資産合計	1,142,870	1,003,499
投資その他の資産	417,127	385,125
固定資産合計	1,603,812	1,431,014
資産合計	3,671,802	3,776,917
負債の部		
流動負債		
買掛金	185,570	195,220
未払金	478,916	609,729
短期借入金	399,600	266,898
1年内返済予定の長期借入金	851,836	317,701
契約負債	61,011	100,916
未払法人税等	60,022	99,901
預り金	17,832	10,207
ポイント引当金	11,798	14,834
その他	28,116	43,677
流動負債合計	2,094,703	1,659,087
固定負債		
長期借入金	420,157	862,403
資産除去債務	29,216	29,328
繰延税金負債	237,537	212,786
固定負債合計	686,911	1,104,518
負債合計	2,781,614	2,763,605

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	613,276	613,276
資本剰余金	142,491	142,491
利益剰余金	9,630	144,738
株主資本合計	765,399	900,506
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△556	△1,490
その他の包括利益累計額合計	△556	△1,490
新株予約権	26,396	26,396
非支配株主持分	98,949	87,898
純資産合計	890,187	1,013,311
負債純資産合計	3,671,802	3,776,917

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,176,186	3,798,186
売上原価	592,810	740,650
売上総利益	2,583,375	3,057,535
販売費及び一般管理費	2,442,896	2,823,170
営業利益	140,478	234,364
営業外収益		
受取利息	309	944
為替差益	-	16,830
投資有価証券売却益	-	46,846
償却債権取立益	1,209	2,030
事業譲渡益	2,138	-
その他	1,433	4,061
営業外収益合計	5,090	70,713
営業外費用		
支払利息	12,799	16,511
借入手数料	4,515	12,213
為替差損	15,191	-
持分法による投資損失	3,906	4,505
投資事業組合運用損	1,016	-
投資有価証券評価損	1,455	-
その他	1,500	5,267
営業外費用合計	40,383	38,496
経常利益	105,186	266,581
税金等調整前中間純利益	105,186	266,581
法人税、住民税及び事業税	87,669	97,658
法人税等調整額	△21,250	554
法人税等合計	66,418	98,213
中間純利益	38,767	168,367
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△6,846	33,259
親会社株主に帰属する中間純利益	45,614	135,107

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	38,767	168,367
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	904	△933
その他の包括利益合計	904	△933
中間包括利益	39,672	167,434
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	46,519	134,174
非支配株主に係る中間包括利益	△6,846	33,259

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	105,186	266,581
減価償却費	117,667	84,988
のれん償却額	62,744	62,744
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△852	1,168
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△294	3,035
受取利息	△309	△944
支払利息	12,799	16,511
為替差損益(△は益)	5,390	△3,834
株式報酬費用	3,018	-
借入手数料	4,515	12,213
持分法による投資損益(△は益)	3,906	4,505
投資有価証券評価損益(△は益)	1,455	-
投資事業組合運用損益(△は益)	1,016	△3,721
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△46,846
売上債権の増減額(△は増加)	80,951	△225,629
棚卸資産の増減額(△は増加)	27,973	△7,581
仕入債務の増減額(△は減少)	△31,310	9,650
未払金の増減額(△は減少)	△61,347	130,813
その他の資産の増減額(△は増加)	25,243	△119,924
その他の負債の増減額(△は減少)	△71,118	45,937
その他	-	3,384
小計	286,635	233,051
利息及び配当金の受取額	309	944
利息の支払額	△13,189	△14,606
法人税等の支払額	△85,323	△47,046
営業活動によるキャッシュ・フロー	188,432	172,343
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,679	△1,582
投資有価証券の売却による収入	-	52,815
無形固定資産の取得による支出	△3,144	△5,242
投資事業組合からの分配による収入	455	-
敷金及び保証金の回収による収入	66	-
出資金の払込による支出	△7,500	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,802	45,990

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	195,000	△132,702
長期借入れによる収入	340,000	709,150
長期借入金の返済による支出	△213,657	△801,038
借入手数料の支払額	△4,515	△12,213
転換社債型新株予約権付社債の償還による支出	△194,943	-
新株予約権の買取による支出	△9,812	-
非支配株主からの払込みによる収入	-	400
非支配株主への分配金の支払額	-	△44,711
連結の範囲の変更を伴わない関係会社株式の取得による支出	△100	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	111,972	△281,114
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,464	1,884
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	286,138	△60,895
現金及び現金同等物の期首残高	771,144	1,138,621
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,057,282	1,077,725

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メディア事業	プラット フォーム事業	ファンビジネス 事業	計			
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	1,831,404	1,047,073	100,913	2,979,391	13,810	—	2,993,201
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	14,722	1,907	154,756	171,385	11,599	—	182,984
顧客との契約から生 じる収益	1,846,126	1,048,980	255,669	3,150,776	25,409	—	3,176,186
外部顧客への売上高	1,846,126	1,048,980	255,669	3,150,776	25,409	—	3,176,186
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	21,360	△21,360	—
計	1,846,126	1,048,980	255,669	3,150,776	46,770	△21,360	3,176,186
セグメント利益又は損 失(△)	225,740	146,219	26,508	398,468	△18,744	△239,246	140,478

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業、デジタルサイネージ事業、メタバース事業及び新規事業開発等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△239,246千円は、主に一般管理費等の各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ. 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メディア事業	プラットフォーム事業	ファンビジネス 事業	計			
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	2,196,472	1,049,862	306,327	3,552,662	13,669	—	3,566,332
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	75,464	—	154,508	229,972	1,881	—	231,854
顧客との契約から生 じる収益	2,271,936	1,049,862	460,835	3,782,634	15,551	—	3,798,186
外部顧客への売上高	2,271,936	1,049,862	460,835	3,782,634	15,551	—	3,798,186
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	8	—	8	—	△8	—
計	2,271,936	1,049,870	460,835	3,782,642	15,551	△8	3,798,186
セグメント利益又は損 失(△)	258,493	198,329	48,112	504,935	△12,227	△258,342	234,364

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業、デジタルサイネージ事業、メタバース事業及び新規事業開発等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△258,342千円は、主に一般管理費等の各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、「プラットフォーム事業」及び「その他」に含まれていた「ファンビジネス事業」の量的重要性が増したため、報告セグメントを従来の区分から、「メディア事業」、「プラットフォーム事業」及び「ファンビジネス事業」の3区分に変更しています。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しています。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。